

## 令和7年度 第9回 揖斐川町教育委員会（議事録）

1 日 時 令和8年1月27日（火） <開会> 午後1時30分 <閉会> 午後3時00分

2 場 所 揖斐川町役場（3階）研修室

## 3 出席者

教育長 香田 静夫

教育委員 折戸 克明（教育長職務代理）、小林 直樹、松井 乃里子、八幡 雅夫

事務局 所 貴宏（事務局長）、富山 哲成（学校教育課長）、松久 秀紀（社会教育課長）

高橋 由利（学校教育課課長補佐）、松浦 亮太（学校教育課学校教育係長）

## 4 次 第

## (1) 開 会

- ・ 揖斐川町教育委員会会議規則（第7条）に基づいて、会議の開会を宣告する。
- ・ 本会議事録の署名については、規則第19条により、小林 直樹 委員を指名する。
- ・ 本日の予定は、諸般の報告と事務局からの連絡、閉会後に研修を行うこととする。
- ・ 本日の議事については、規則第21条に定められた非公開案件が1件。

## (2) 諸般の報告（教育長）

- ・ 「人間として生きぬく力」の育成につながる効果的な指導方法について、<探究的な学び>を保障することにあると考える。その理由は、子供たちが自らの問題意識に基づいて主体的に学ぼうとする意欲を高め、探究の過程を通して、課題形成－解決力を育成するとともに、様々な他者との対話を通じてものの見方や考え方を広げ、深めることができることに依る。各学校において、校長が教育課程編成の裁量権を最大限に発揮して、子供たちの学びを拓いていく創造的なカリキュラムマネジメントに取り組まれることを期待する。
- ・ これからの学校教育の在り方について考えてみる。～“バックキャストिंग”という思考法～ 将来を見据えた学校教育の在り方を考える機会を得た。学校の設置者の一人として、住民の皆さんや先生方、子供たちが求めるこれからの学校教育を創っていくことにやりがいと責任を感じながらも、ブーカの状況にあっては、真に必要な学校教育をデザインすることは容易ではなく、戸惑いと緊張が続いている。「バックキャストिंग」という思考法がある。これには、将来の在りたい理想の姿を設定し、そこから逆算して今何をなすべきかといった計画を立てる。現状の延長ではなく、望ましい未来を創造する点に特徴がある。
- ・ 未来社会を主体的かつ協働的に生きぬいていく子供たちの育成を考えるのであれば、例えばもっと早い段階から、グローバルな視点からの学びとローカルな視点からの学びを並走させることによって、より広く深く思考できる資質・能力が育成できるものとする。各学校にはこうした従来の考え方に縛られない新たなカリキュラム開発を少しずつでよいので進めていってほしい。
- ・ これからの社会をつくる皆さんへの期待を込めて ～令和8年「二十歳の集い」を終えて～ 令和8年1月11日（日）に、揖斐川町も「成人の日」の前日に「二十歳の集い」として式典を開催した。少子化が進む中、今年の対象者は178人。
- ・ 式典をつくるのは、実行委員11人と19歳スタッフ9人。実行委員会は、9月24日に第1回会議を開催して以降、組織・役割分担、内容等の検討とリハーサルを重ねた。熱意とチームワークは抜群で、初会合から臆せずアイデアを出し合い、建設的な議論を繰り返しながら形を整え、本番を迎えた。式典を熱い気持ちにさせてくれたのは、「恩師からの言葉」もそうだった。当時の生徒たちが新型コロナの影響で修学旅行や卒業式が思うようにできなかった中学時代であったことは言うまでもないが、当時お世話になった先生からは、「この場で再会するにあたり、15歳の進路選択はどうだったのかと心配をしていた。しかし、皆さんが立派に成長されている様子に、その後の5年間が充実していたことが分かり安心した。」と、いかにも恩師からの心のこもったメッセージに目頭が熱くなった。その後、志半ばで亡くなられた教え子を追悼し、会場全員で黙とうを捧げられた

ことにも、一人一人を大切にしている、していくという切なる思いが伝わってきた。

- ・ 令和7年度「揖斐郡教育研究実践論文」の審査結果について、22名の先生方に応募をいただいた。そのうち、揖斐川町は8名であった。なおかつ、2の方が優秀賞であった。
- ・ 教育情報
  - 「学校給食費の抜本的な負担軽減」について（3党合意・文科省健康教育・食育課 R8.1.16版）
  - 学習指導要領の改訂に向けた動きについて

### （3）議 事

議第28号「揖斐川町立小中学校管理規則」の改正について

議第29号「揖斐川町立小中学校共同学校事務室の組織及び運営に関する要綱」の制定について

議第30号「令和7年度要保護及び準要保護児童生徒（新入学児童生徒学用品費等）の追加認定について

### （4）連絡事項 等

#### ＜事務局関係＞

- ・ 1月臨時議会を1月23日（金）に行い、計9議案が上程され、すべて可決された。教育委員会関係の上程案件は、「令和7年度揖斐川町一般会計補正予算」であった。給与表改定に伴い、会計年度任用職員の報酬及び期末勤勉手当の増額補正をおこなったものである。

#### ＜学校教育課関係＞

- ・ 定期人事異動の進捗状況
- ・ 入学式・卒業式の対応
- ・ 職員の離任式・着任式の日程調整
- ・ 中高生海外研修派遣事業の報告
- ・ 生徒指導上の問題行動及び不登校児童生徒調査（12月）の状況
- ・ 揖斐高校学習成果発表会について
- ・ 学校地域安全対策安全会議について

#### ＜社会教育課関係＞

- ・ 令和8年揖斐川町二十歳の集いの報告
- ・ 各地区公民館まつりについて
- ・ 第36回「IBIGAWA フリーマラソン」の開催報告について
- ・ 揖斐川町体育施設条例の一部改正について
- ・ ぎふ創作オペラ「ダム底から聞こえる」について

#### ＜学校教育課・社会教育課関係＞

- ・ 令和8年度「揖斐川町 教育の方針と重点」改正の趣旨について

### 5 次回の教育委員会定例会の開催

日 時：2月24日（火） 11時00分～（2月開催）

場 所：揖斐川町役場（3階）研修室

#### ＜議長（教育長）＞

- ・ 閉会を宣言する。  
全員異議なし

以上、閉会

署名 \_\_\_\_\_